

## 入試評論文のキーワード

金曜日は中間考査の成績提出締め切り日で、各教科担当の先生方は、採点の結果とそれを踏まえた評価の結果を、学年教務の増田 先生に提出したはずである。その結果がまとまって、間もなく担任の手元に届くだろう。 結果が思わしくなかった人については、冬休み前にご注意申し上げたいと思っているので、それぞれ自覚があるに違いないから、しっかり覚悟しておくように。

ちなみに、ご注意申し上げたい方々は、大方が「遅刻」でご注意申し上げたい方々と重なっている。そのことからも、遅刻がいかに学校生活の基底と関係するかについて考察していただきたいものである。遅刻については、11月後半から重ね重ね注意を喚起してきた結果、明らかに向上した人もいるし、遅刻しないようにと努力していることが明確に感じるれる人もいる。しかし一方で、相変わらずいという人もいる。これらはクラスのみんなも既に感じているはずだから、該当の諸君はそれぞれに努力を継続してほしい。

\*

ところで、そろそろ来年の教材を検討する時期になって、池田先生と一緒にいろいろと考えたりしているのだが、今、君たちの手元に現代文の副教材で『入試評論文読解のキーワード300』というのがあるに違いない。あれはなかなかイイ教材で、来年度も現代文の授業で活用することになる。

例えば、「概念」というのを調べてみるといい。この言葉は、ちゃんと定義しようとすると小難しくなってしまうのだが、『入試評論~』を見ると、「「概念」とは、「これは何

か」という問いに対する答えです」と書かれている。自分でも後で読んでみてほしいが、 続きをちょっとだけ引用してみよう。

たとえば、目の前のくもの>を見て、「これは字を書くものだ」とか「これはペンだ」と答えたとき、その<字を書くもの>とか <ペン>というのが概念です。

このように、概念とはく頭でとらえた、ものごとの意味内容>を意味しますが、それをくペン>という言葉で表現することができますので、しばしば概念は「言葉」と読み直すこともできます。(→概念は、「意味」または「言葉」と言い換えるとほぼ意味が通じます。)

私は、これほど分かりやすい「概念」の説明を他に知らない。言い換えに関する解説を覚えておくと、難しい評論文も取り組みやすくなるに違いない。

英語の単語集(例えば「速単」)などは、 どんだん読み進めるということは難しいと思うが、現代文の単語集である『入試評論へ』は、特に暗記しようとか思わずに、とりあるで ・ 最後まで読み通すつもりで、読みをして ・ 最後まで読み通すできるはずである。 ・ まできるはずである。 ・ は、特に暗記しようとかできるはずである。 ・ は、特に暗記しようとか思わずに、とりまるといる人がいたらいるといる人がいたられた。 ・ なきにしたいと思ってとまま推薦してよどはかられているもにで、この一年間、世界ととはの ・ は、理を学んできた立場で読み返すと、それなり ・ は、理を学んできた立場で読みではないかと思う。 ・ 記書の一環として取り組んでみよう。